

## 多摩社会人大会の休会について

大会参加の選手の皆様、会長の畠山です。

大会に参加頂き有難う御座いました。

本年12月の大会で記念すべき100回目を迎える事となりました。

この大会は、50年の歴史を持ち、私も皆さんと同じように、若い時に、この第1回大会より参加し、柔道という競技を通して、色々な社会人のメンバーとおおいに交流を深めて来ました。この大会は、社会人が仕事をしながら柔道という素晴らしい競技を続けて、切磋琢磨できる事を目的に、三多摩地区の企業を中心に創立した「三多摩実業団柔道連盟」が母体となっております。当時は、東芝府中、日野自動車、NEC府中、コニカなど、三多摩地区の企業の柔道部が盛んに活動を行っており、私は現役を退いてから、企業人として、忙しい生活を送っておりましたが、大好きな柔道にかける気持ちは変わらず、後輩の育成を目的に、13年前から、この組織の会長に推挙頂き、務めさせて頂く事になりました。

ただ、この13年間での社会の激変は、柔道にも大きく影響が及び大会幹事を務めていた企業での柔道部の活動が縮小化に向かい、企業としての柔道部の存続自体が危機的状況に追い込まれて行きました。ここ数年は、大会の内容を社会人中心に変えまたインターネットでの大会参加の呼びかけが、功を奏し、現在のように何とか大会を維持できる選手を集めることができました。

しかしこの大会運営を務める役員は固定化されており、高年齢化が進んでいます。幹事を長年務めるメンバーから、大会の目的も果たしたので、若いメンバーにバトンタッチしたいとの申し入れがあり、バトンを渡せる方を応募しておりました。残念ながら、幹事役を引き受けて頂ける方は現在、おりません。

そこで、当会としましては、この100回大会でいったん休会にして、新しい幹事役の方々が現れる事を期待して待つことにしました。

どうか、この大会を残したいという、方々がこの場におられましたら、事務局にご連絡いただくと幸いです。

これまで大会に参加していただきました各団体や個人の選手の皆様には厚く御礼申し上げます。

平成30年(2018年)11月1日

多摩社会人柔道大会 大会会長 畠山 恵一